



楽しく世代間交流ができました

9/9 立野区ものづくりマイスターから子ども達へ  
伝統文化親子教室事業を開催

清里小学校放課後子供教室（ばかばかフレンズ）で「伝統文化親子教室事業」が開催されました。

これは、熊本ものづくり塾（原嶋友子塾長）が実施している事業で、ものづくりを通して伝統文化を伝えたいとの思いで行われているもので、すべての小学校の放課後子供教室で2回ずつ実施されます。

この日は、立野区ものづくりマイスターやものづくり推進員の皆さんが、「桧のランプシェード」の作り方を子どもたちに伝授しました。



「みんなのつみき」を寄贈した原嶋塾長（左）

9/12 「木育・ものづくり事業」の更なる推進を！  
～熊本ものづくり塾が「みんなのつみき」を寄贈～

熊本ものづくり塾（原嶋友子塾長）は、県産材を活用した「みんなのつみき」を寄贈しました。

この県産材を活用した「みんなのつみき」は、子どもから高齢者までつみきを使って、楽しく遊んだり、機能回復を目的として組み立てて反復練習ができるものとなっています。

この寄贈された「みんなのつみき」を活用し、まちづくり・観光・福祉・介護・子育て・教育など幅広い分野で実施される「木育・ものづくり事業」の推進が期待されます。



力を合わせて作業しました

9/2 清源寺区内の神社  
区民自らの手で補修作業

清源寺区（牧嶋保幸区長）は、区内の神社敷地の補修作業を行いました。

これは、同区内にある加藤神社の敷地を区民で補修しようと計画され、地域の人々などで2日間かけて作業しました。この2日間で約40人の区民が作業に参加し、全長約14mのブロック塀が完成しました。



クイズに答えながらウォークラリーを楽しみました

9/9 多くの参加者が楽しみながら健康づくり  
にこここスポーツフェスタを開催しました

町教育委員会とNPO法人長洲にこここクラブ（宮原利興理事長）は、総合スポーツセンターで、長洲にこここスポーツフェスタを開催しました。

ことしで、12回目を迎えたフェスタは、ペタンクやウォークラリーをはじめ、トランポリン、忍者ごっこ、脳内年齢・骨密度測定などの多彩なプログラムに、幼児から高齢者まで、約1,200人が参加しました。

【ウォークラリー】

- 優勝 腹赤子ども会 A
- 2位 腹赤子ども会 B
- 3位 建浜子ども会



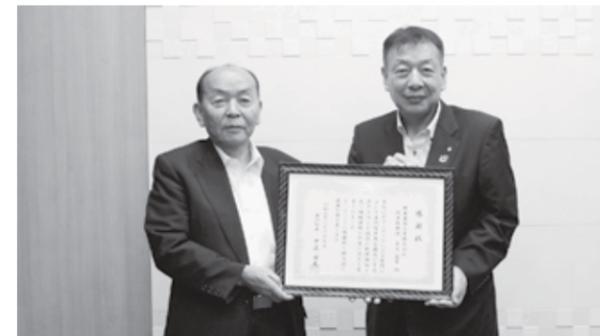
ネット被害の現状などを話す篠原嘉一さん

8/27 子どもたちのネット利用の現状を知る  
町内保育所（園）・認定こども園職員研修会

長洲こどもの海保育園で、町内保育所（園）・認定こども園の職員研修会を開催しました。

これは、毎年保育者の資質向上を目指して行われているもので、今回はNIT情報技術推進ネットワーク（株）代表取締役の篠原嘉一さんを講師に、スマホやネットに潜む危険などについて学びました。

この日は、約100人の職員が参加し、実際に職員自身のスマホを使って注意すべき点などの実技を行い、参加した職員からは「実際自分のスマホを操作し、スマホの危険性を感じることができよかったです」などの感想が聞かれました。



感謝状を受け取る末吉代表取締役（左）

8/29 公園やグラウンドをボランティアで整備  
興亜建設工業株式会社へ感謝状

中逸町長は、興亜建設工業株式会社（末吉益美代表取締役）に対して、感謝状を贈呈しました。

これは、同社がことしの8月に、中央公園と赤崎区のグラウンドをボランティアで整備されたことに対して贈られたものです。

同社は、これまでに学校の運動場や公共施設の駐車場を整備するなど、多くのボランティア活動をされています。

中逸町長は、「末吉社長のご厚意により公園などを整備いただき、改めて感謝申し上げます」と感謝の言葉を述べました。



見事3位入賞した長洲金魚姫（東荒神子ども会）

8/24 県子ども会連合会球技大会 ビーチボールバレーの部  
長洲金魚姫（東荒神子ども会）が3位入賞！

県子ども連合会球技大会が、上天草市の大矢野総合スポーツ公園総合体育館で開催され、長洲金魚姫（東荒神子ども会）が3位に入賞しました。

ことしは、ビーチボールバレーの部に県内各市町村の子ども会連合会から19チームが参加。町からは、同チームの他に長洲にこここクラブチームが参加し、健闘しましたが惜しくも入賞とはなりませんでした。



地域営農・法人化について理解を深めました

8/28 農業の更なる活性化を目指して  
地域農業活性化セミナーを初開催

町担い手育成総合支援協議会は、町中央公民館で「地域農業活性化セミナー」を開催しました。

これは、地域農業の更なる活性化を目的に初めて開催されたもので、農山村地域経済研究所長の楠本雅弘さんを講師に招いて講演を行いました。

この日は農業者や関係機関から約50人が参加し、地域における農業経営・法人化について理解を深めました。

参加者からは「勉強になった。農業者の理解を深めていくことが大切だと感じた」などの感想が上がりました。